

シニアボランティアふれあい交流会 2012 第二部
**楽しく参加できる
 プログラムで大盛況!**

第二部の交流&体験会では、日頃、個別で活動しているグループ同士が、お互いの活動を知り交流を深めるとともに一般市民の方には、ボランティア活動に関心を持って頂けるように参加型のプログラムを取り入れて頂きました。各会場では、実際にボランティアの活動内容を体験しながら交流することで、新しい仲間づくりやグループ間のコラボレーションなどへのきっかけづくりができました。

各会場の様子

●和室では、「おはなしの会にじのはし」による食と命をテーマにした絵本「いのちをいたたく」と人を思いやる優しい心が花を咲かせる感動の絵本「花さき山」の大人への読み聞かせのあと「シニア傾聴ボランティアコスモス」と「傾聴サークル福岡えがお」によるシニア傾聴カフェ（お話相手とティータイム）で和やかな雰囲気での交流ができました。



大人への読み聞かせ



シニア傾聴カフェ

●音楽室では「カンターレ・ルーナ」によるオカリナ演奏と「音楽レクレーンボー」による楽器演奏やハンドベル体験会で、「さくらさくら」等の季節の歌をみんなで楽しく歌いました。続いて、「のこファミリー」による、「のこぎり演奏と体験会」では、珍しい楽器の音色を間近で聞いてみたい方やのこぎり演奏にチャレンジしたい方が集まり大人気でした。



ハンドベル体験会



のこぎり演奏体験会

●第二会議室では、歴史グループ六団体による日頃の学習成果や活動内容の展示が行われました。福岡大空襲や福岡城に関連する資料展示、中央区の歴史案内ガイドの活動紹介、黒田藩の古文書解読の活動紹介の他に歴史クイズもあり、大賑わいでした。



歴史グループの展示



パソコン名刺づくり

●第三会議室の「NPO法人シニアネット福岡」によるパソコンde名刺作りでは、顔写真入りの名刺やイラストなど自分のオリジナルデザインの名刺が作れると大人気で、順番待ちの列ができていました。

●実習室では「ラ・レーヌ・デ・ヨカッタ」が、バルーン作りや折り紙、手品体験などを図解入りの解説を掲示して、来場者に熱心に教えました。また、作り方のコツや教える時の工夫などを他のボランティアと情報交換をしていました。



バルーン作り



折り紙体験

●視聴覚室では「ハートフル手話ダンス」による手話ダンスや「夢エンタークラブ」の皿回し、「健康づくりLG会」の太極拳などのプログラムに来場者の方々が積極的に参加する姿が見られました。



会場全員参加の太極拳



お楽しみ抽選会

第二部、最後の締めくくりは、今回、初企画の「お楽しみ抽選会」です。約一五〇名分のホール入場者の記名票で抽選を行い、三十八名の方に各グループが持ち寄った賞品が当たりました。一枚引くごとに歓声があがり、当選者の方への拍手で、会場の雰囲気も大いに盛り上がり、閉会となりました。

新規登録ボランティアの紹介
寄稿
身障カラオケクラブ やまびこ会
 会長 廣瀬 和美

平成十九年五月に障がい者を中心に「身障カラオケクラブ やまびこ会」を発足いたしました。現在、毎月、第二・第四木曜日に早良区百道浜福祉プラザ内で練習をしています。毎回一人一人、自分の持ち歌を楽しく歌っています。

毎年、七月には、博多区のマイソングカラオケで発表会を行なっています。十月は、西区小田でのみかん狩りで、地域の皆さんとのふれあいの場もつくっています。十一月は、浮羽での柿狩り、十二月には、クリスマス会、四月には、桜のお花見会など季節に応じた行事を通して、会員同士の交流を深めています。そして、今年五月二十七日には、最も力を入れて待ちわびている『第十九回西日本視障連盟カラオケ大会』（ふくふくプラザで開催）を目前にして、今、大きな取り組みにかかっているところです。成功させることを願い、会員一同、一生懸命、持ち歌の練習に力を入れて頑張っています。



やまびこ会

今年度より、シニアフレンズ福岡にボランティア登録をして、今後は、福祉施設などでの活動を増やしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

受講生募集

（学習講座の紹介）

シニアフレンズ福岡実行委員会では、ボランティア活動や『ねんりんスポーツ文化祭』の参加につながる「はつらつ講座」と様々な知識・技術を有する地域の方から様々なことを学ぶ「ふくおか地域塾」を開催します。春から何か始めてみたい方、ボランティアに興味がある方など皆様のご応募をお待ちしています。

【ふくおか地域塾】

①笑顔で元気！健康レクササイズ講座

イスに座って、懐メロに合わせ、みんな楽しく歌いながら体操をします。

○開催日 5月18日、6月1日、15日、7月6日、20日（全5回）

○会場 いずれも金曜日13時30分～15時 中央市民センター 音楽室

○講師 健康レクササイズインストラクター 小林 昌子さん 松田 由美子さん

○受講料 二千五百円（資料代100円）

○定員 20名

○締切日 5月8日（必着）

②ちよこっと手品入門講座

新聞紙や紙コップなど身近な日用品を使って簡単にできる手品を学びます。

○開催日 5月23日、6月6日、20日、7月4日、18日（全5回）

○講師 いずれも水曜日13時30分～15時 長 寿美子さん

○会場 中央市民センター 第二会議室

○受講料 二千五百円（材料代500円程度）

○定員 20名

○締切日 5月11日（必着）



③暮らしの中で香りを楽しむ！

ハーブとアロマの入門講座

ハーブとアロマの基礎知識を学び、ポプリ、バスソルト、ラベンダーせっけん等の生活に役立つ小物作りやハーブティーでティータイムを楽しみます。

○開催日 5月22日、6月26日、7月24日、8月28日、9月25日（全5回）

○会場 いずれも火曜日14時～15時30分 中央市民センター 実習室

○講師 長村 恵子さん

○受講料 二千五百円（材料代1500円）

○定員 20名

○締切日 5月11日（必着）



【はつらつ講座】

シニアのためのデジカメ入門講座

デジカメの基本操作、パソコンへの画像の取り込みや調整・加工などを学び、屋外で撮影会を実施して、写真展への作品出展を目指します。

○開催日 6月4日～7月23日（全7回）

○会場 7月1日を除く毎週月曜日午前10時～12時 NPOシニアネット福岡 大名教室

○講師 吉原 克治さん

○受講料 無料

○定員 10名

○締切日 5月23日（必着）



※申込の際、パソコンのメールアドレスを明記

●申込方法

往復ハガキに講座名・住所・氏名・年齢・電話番号を書いて左記までお申し込み下さい。

福岡市中央区大名二一五―三十一

中央区役所 生涯学習推進課内

シニアフレンズ福岡実行委員会事務局

TEL (092) 718-1106

〒 810-8622 ※申込み多数の場合、抽選となります



夢エンタークラブ

施設の入所者や通所者の方々に喜んでいただけるように「笑いの心」「手品」「懐かしい童謡唱歌」「皿回し」「踊り」「紙芝居」等の楽しい演目を披露し、一緒に楽しんでいきます。時には、歌いながら涙する方や車椅子から立ち上がった踊り出す方もいらっしゃいます。

寄稿

健康第一、明るく楽しく元気よく
夢エンタークラブ代表 大武 晃

平成二十三年十二月、シニアフレンズ福岡の登録グループである「夢エンタークラブ」と「人形劇団ピンコピン」が福岡県地域福祉財団の地域ボランティア活動支援促進事業助成団体として採択されました。今までの活動が認められ、今後も地域のために活発に活動を続けていける団体として期待されています。代表者の方に今までの活動を振り返っていただきました。

夢エンタークラブは、今年で結成八年目、現在メンバー二十三名で活動しています。私達は、芸能ボランティアを目指し、子どもたちには「夢と感動を」高齢者には「癒しと感動を」与えるため、健康第一で、明るく楽しく元気よくをモットーに月三回の練習で技術レベルの向上を図り、高齢者福祉施設などへ年間三十回以上、訪問しています。

寄稿

団員の頑張りや健康があつての活動
人形劇団ピンコピン代表 古賀 興三

その様子を見て、私達もますます意欲が湧いてきます。活動の中で大切にしていることは、その時間を共に共有し自分も楽しむことです。そのことが相手に伝わることを信じ、笑って頂いたり、拍手をもらうことで、喜びを感じることができ、「とても満足する至福の時間」を得ることが出来ます。今後は、団塊の世代や、これから何かを始めようとしている方にボランティア活動の参加を呼びかけ、メンバーの増員や後継者作りへとつなげていきたいと考えています。

この福岡県地域福祉財団からの助成金で機材等を購入し、今後の活動に役立てていきたいと考えております。

『心が痛むとき、どんな鎮痛剤よりも人と会うこと笑うこと』

人形劇団ピンコピンは、皆様の声援に支えられて今年六年目を迎えた。これも孫みたいな子ども達の笑顔と団員の結束があつてのことだ。何時も七人から八人が一緒にあって、派遣先に行き公演している。

ボランティア活動には何ら規制があるわけでもない。団員の頑張りや健康があつてのことだ。団員に感謝するしかない。人形劇は、身体一つではできない。一人ではできない。人形がいる。ストーリーがある。音楽も舞台もいる。ひとつ欠けても人形劇はできない。振り返ってみれば、良くここ二三年まで出来たと思う。

平成十八年シルバーカレッジの養成講座を終え、二つの出し物を頂いた。「三匹のこぶた」と「虹色のさかな」だ。しかし、この二作では先が見えている。ああ、そうだと人形作りの名人がいる。



地域ボランティア活動助成金交付式

そこで誕生したのが「アンパンマン」と「この野菜なア」である。この作品はピンコピンの定番となり、今では、子供たちの人気のマトであり、子育て支援の基盤となった。

人形劇団ピンコピンが起動に乗ったのは、四年目頃だと思ふ。言えばそれ迄だが、私は、団員一人ひとりが公演に対して自信ができたと思う。この頃から公演の終了後、お客様にアンケートをお願いする様になった。そこで出てきたのが、音響の問題だ。録音のまじりすぎはあったが、スピーカーから出てくる音はノイズ混じりの声である。解決するには機材が必要だ。しかし、買う金がない。そこで、助成金の申し込みだ。キリン財団や福岡県地域福祉財団への申請である。福祉財団より助成金の認可があつた時、「やったー」と声があつた。私達、人形劇団ピンコピンの人形劇は、これからです。

楽しく・元気なときに・仲間と悔いのない人生を。頑張りや人形劇団ピンコピン。頑張りやシニアフレンズ福岡。

〒 810-8622
 シニアフレンズ福岡だより 第十二号
 編集発行 「シニアフレンズ福岡」
 平成二十四年四月
 福岡市中央区大名二一五―三十一
 実行委員会事務局
 中央区役所 生涯学習推進課内